

Athena

Athena 水圧試験機



< SS サイズ >



< SS サイズ >



< M サイズ >



< SS サイズとL サイズ >

Athena 水圧試験機 ステンレス水圧チャンバー（ベーシックモデル）使用説明書

付属品の点検 (以下の品が揃っているかどうかご確認ください)

試験機本体、水圧ポンプ、T型レンチ、開閉レバーバルブ2個、水道ホース接続ニップル2個、防水テープ

組み立て

- 水圧ポンプの黄色いホースをタンク本体に接続させます。(接続ネジ部に防水テープを巻き付けます。テープは時計方向に巻いて下さい。反対方向に巻くとネジを閉め込む際にテープが外れる可能性があります)。スパナを用いてしっかり締め付けて下さい。 **※閉め方が緩いと水漏れします。**
- 注水バルブと排水バルブに、水道ホース接続ニップルを接続させます。
(※接続ネジ部に防水テープを巻いて下さい)。
- ニップルに水道ホースを取り付けます。
(※ニップルとホースを固定するリングはホームセンターでご購入できます)。

設置の注意

- 設置するタンク（水圧試験機）の置き場所は地面が平らであること。
- 水道蛇口の近くであること。
- タンク（水圧試験機）の中の水を排出したりしますので地面が濡れても構わない場所。

使用手順

- 1: ハッチを開き、テストする機材をタンク容器に収めます。
タンク下側の排水バルブを閉めて下さい。
- 2: ハッチを開いたまま、横側の注水バルブから水を入れて下さい。
 - タンクの容器から水があふれる少し手前（フランジ面から水平に1～2mm）で注水を止めます。
 - 注水バルブを閉めます。
 - 別口の水道ホースを用いて水圧ポンプに水を入れます。水を入れた後にハンドルを上下にポンピングしタンク内の水が適量になるまで水を送りこみます（この動作でポンプ内のエアが抜けます）。適量の具合はハッチを閉じた際に空気が少し残る程度が理想です。
 - ハッチを閉じます。閉じた際にボルトの穴の位置とOリングの接触の具合を確認して下さい（Oリング接触の具合は、ハッチ側面から確認できます）。
 - ボルトを挿入し、対角に添って閉め込みます（T型レンチを用いて均等に閉め込んで下さい）。
- 3: 水圧ポンプをポンピングして圧力ゲージを確認しながら少しずつ加圧します。
圧力ゲージの確認 (ゲージ数値は、0.1メガパスカル=水深10m。1メガパスカル=100mです)
- 4: 加圧を0.1のところまで一旦止めて10～20秒間、様子を見ます（事故防止の為、いきなり指定圧力まで加圧しないで下さい）。各接続バルブ、ハッチとフランジの間から水漏れが発生していないか確認して下さい。
- 5: 水漏れがなければ加圧を0.3まで上げます。テストする機材に水漏れが発生していないか、ハッチの窓から状況を確認します（事故防止の為、至近距離から内部を覗き込まない下さい。大変危険です）
- 6: 指定圧力まで加圧を繰り返します（安全の為、加圧は、0.5=50mを上限にご使用下さい）
- 7: 指定時間経過後、ゲージの針が下がっていないかどうか確認します。水漏れが有る場合はゲージの針が下がります。（ゲージ針は水温や環境の温度変化の差により多少変動します。0.05くらいの変動は異常ではありません）。
- 8: 試験機下側の排水バルブを少しずつ開け減圧します。次に横側の注水バルブを開け、一旦水道ホースを蛇口から取り外して空気を取り入れ排水して下さい（ハッチを開けて排水する場合は、注水バルブを閉めて行って下さい。注水バルブに水が溜まっているとハッチが陰圧により開けにくい場合がございます）

取扱上の注意

- ハッチの上に物を置かないで下さい。損傷、傷の原因になります。
- 加圧中に限らずハッチに衝撃を加えないで下さい。衝撃を加えると重大な事故につながります。
- 使用前に必ずハッチの各部やフランジOリングに異常がないかどうか十分に点検を行って下さい。
- 加圧中は事故防止の為、本体からなるべく距離をおいて作業して下さい。